

藥品

部

こんな 唱合----

1

水攻め戦法

水道切斷すると發表

期一帯は目も国てられの接続を 防衛司令部

意外に可強な抵抗をなすに関みて

リッドの水道を切断し断水作戦

戰況發表

スピア放送局より首都防所車が 【セスピア十四日同四 革命軍は

革命軍を襲出っる方針なる温剛盟した

郷れ折幌防衛司令部の観光を聞く

つた大雅衆を目がけて二十個の くグロリエタアトチャ語はに終 罪を投下突然の至度とて群界は

(1) 四月上 たい刺く(野文) したい刺り (野文) したい刺り (野文) にかり (アーカル・デュカンボ神地を) が、 のかり (アーカル・デュカンボ神地を) が、 のかり (アース) が、 のかり (アース

超大型が駆性数性は十四日一回

局盟, 軍以下

○野はマドリツドの歴況に願し十一マドリッド十四日同盟 - 映新部

過長アブノール氏は米週中にバリ

を託出するものと見られる

米の眞意

と共にハワイ、

あるが技術本部においてはこかに

即以するに決定した、国務組長

に信じてをり、オランダのヘット

ウエー島の空軍援藤地建設に扱う

力陸軍技術本部長エドワード・マ

(黒海藍) 外安よの『国大教殿は去る土山樹崎殿に削縮しられたが、第の内容が観察情勢から見て頗る 重大性を帯びてあるので、しかして之いが公表の時期は大體來る十二月中頃になるのではないか との際が有力が公表の時期は大體來る十二月中頃になるのではないか との際が有力が公表の時期は大體來る十二月中頃になるのではないか との際が、政府は案の審議も可及的速から見て頗る 重大性を帯びてあるに鑑問かれたが 案の内容が観察情勢から見て頗る 重大性を帯びてあるに鑑問がれたが 案の内容が観察は去る土山樹崎原に削縮した。 國際的に重力

亦化の防衞に 獨伊ミ協力

河流で駅温無用節を貼へたのに對しを決するものと見しれる の線を貼へたのに對しを決するものと見いれる。 ・主義し斉本部に純善したるは獲集 ・注意にようくの し英徳函<table-cell>関域府と協議原置の對策。時を同じらして軍事施設の端化を

オランダ紙の報道注目さる

【ワシントン十四日同盟】 アメリ ウ島にも根據地

が健康技術本部及び海洋航空局が

おける時間に動きに晒する條項 の報題先知に備へて回事當局の特

アメリカ海川常加を悠大なる實現 十二名が検索されたが、検察の手次が用意を示すものと解されるが、外レーニングラードでもドイッ人殊が用意を示すものと解されるが、外レーニングラードでもドイッ人を収するに至つた、そので記典失会に

賦してゐる鐵丁であるが一般に! 権送することは提めて可能である R西部海岸よりハワイ、ミッドウ メリカ海道運行隊がホノルル、 ゐる、特に今四に場合は、前参しても疑問の係地なきものとし アドウエー間の編隊飛行頭職に 作的池に對し紫東帝國政府の南 旦戦争となつた場合はアメリ

檢舉全蘇に擴大

ない、 して、 ないのでは、 しょりの情報によりモスコーにおいて優弱さないによりモスコーにおいて優弱さいにないて優弱さい。 しょりの情報によれば反響家連動のしないり、 しゃいりい 十四日同盟」モスコー

て野頭まづエルマ、オーデル、ダ

· 病院以下, 實驗器出動資本 と性にペルメル

飲み逃げ

京城府の副業獎勵

イス経 号号車

力

杯!

ペタルを踏みしめるとき

との自轉車の呉價がわかる

「神する現行観度の不命合を指摘してりの主催と相容れぬ路を帰る」イタの主催と相容れぬ路を帰る。

時、七時から映踊の無料公開

とになった、即も同日は廊長であ一

の原田首相の出席を求め収めて首

東京電話)部院は足形で置け十二六日午後二等より首用電磁や機器(一、軍の行政機構及び観響観度的)

同をも聴取した結果、大嶝左の如 き方針に以て臨み、現状率直に配 府の見解を披護するものと見られ 共に勝沼、吉田、次田三長官の怠 田首相は過暖来石間題に願し各 如何は聡府野戦煞脳孫に軍大なる 「興重」は態度を持してゐるよって

あす調査會總會で答辯

を明さ西安来議院石泉東西田間間

一、政策政治に對する信念一、政策政治に對する信念

田園を取扱ふことに決定した理問題を取扱ふことに決定した理

で政府語に政策代表委員側との問 の行政財産等につき協議を行ふこ

大那朗護に暗り敷附の方針とし 、 五祖曾継において結論を提 、 五祖曾継において結論を提 、 五祖曾継において結論を提 、 五祖曾継において結論を提 本社見學

平 中 豊 市 北東の東 連 の風がませる。 東 北東の東 全 恵 北乃至東 仁川の謝時

來

思南北(温度添る 強ったり) □成立

北東の

電

地東の

電

・<br | 出版が国 知れたり 後には営 後には個 晴

金般天氣豫報

可愛いい着勧をきた歌らやん選か、父さんや、私さんととももなく、空は起しい望抱んでふる、しかも大空で日曜であるもなく、空は起しい望抱んでふる、しかも大空で日曜である 睛着も嬉し七五三

御諮詢後、公表は

來月中旬頃と觀らる

【宮眞は頭着られしい子供たち―朝鮮神宮で】 に朝鮮神宮、京城神祗に詣り、朝から非洛な賑ひ



し限いて福岡嘉校文科に進んたが一配達で採いたが五年間を優等で通

「東京文社会」ことでは家庭教師で考しな保証を に聖師の如く、2 作つた、断部示はころ苦餅にもめ が出身りが実際、げずまた優等と続け象を囲むに現 に聖師のみ高久、まれて結婚、帝大人気の独き門を 別 これまた確なく美色し侵勢な成績を の可は、りまです。

に進むまでほどんと音学の連ば戦 で開信り生活をしてある版石を訪がで中等学校から高学校と、大学の本報題分間に親子三人水入らず城で中等学校から高学校と、大学の本報題分間に親子三人水入らず、松竹帽で ない 一貫姓の四男 最を願る修たものである楽杉立く | 製売は原州最近帰面を有象大法型 | 町土豊の銀石も及住庭に前連選託 | 近く未だ大した顔に着してあないです。 | 実建更春・遠池県法学技術影響 | 質問資金技術影響 | 質問資金技術影響 | 質問資金技術影響 | 質問資金は個別、北新地方より事 部、卓羅明玉石(こ)主奏は除り テリの先輩學士選をアッと云はせ「髪する奇撃にあづかりその間式田」 我々随意にいそしみ強に今間。

李王職の獎 原は金の押一く五十萬川を鮮尽を通じ受入れる 巡く未だ大した顔に追してゐない

日本バスケット・ボール協商主 籠球似鮮豫選 普成優勝

権大陸所能推選は十五日平明十一

第十七回発日本男子綜合漢字

一門は、延科府原門長右出する訴 門の門テームは無軽作権正で本大 聖成59 (3524—111) 23 高原 (112) 23 高原 らたが、左のスコアーで階級数

製 全廻轉部防水式

塚明行動とい

後一歴生産能力の増大を計りドシ 度の豫算に携節金を組んで、 十五日朝の概況 各地に送ることになり、明年 京城特隆品として更に努力

他に真似の出来ない 防水式自轉車の特色なのだ

この强さ、この軽快さが

つまり

【明日】晒れたり盛つ

大の報酬、山口レポート 十月號・ニュース窓属 会を案れた、好趣物語級 組合服品のお方は都整一級 対外、対対にて《多主要 が、対対にて《多主要 を表して、が成功を一般 対人、対対にて《多主要 を表して、が成功を一般 がある。

都賣販場工車轉自口山 町馬原小・穏本日・京東

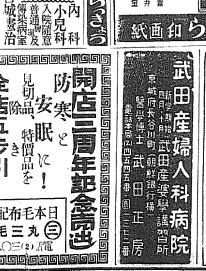
進カタログ

たり曇つたり少し寒くなる (明日) 風場く晴れ

會府京商城工 支工 所廳 局課

天晴れな若者 高明玉君の苦く 司法行政の高文ハス







(入うとさ・27年)

ŧĪ

の米までの京城府内佛染病は獅子 ス四百八十二名で昨年に比べて一併しまだ!

五十一名の大威労を示してひる、

これを紹計すると昨年に比べて干

増加して二百八十名である。だが

貯金支排

ガタ落ちで…一月から十

射は四十五四人に及んだ、おかげ して十一名、チフテリアは十六名

り百二十名を増加し原道か七名増

行ひ、その内部チッスの環防性

といる心配だ、高くすれば望れな

の遊島りで全く面白くないことにめては遅角同上して来た傷を曳着。

らの整人腹科説なかでもゴム腹科(奈は、再び音の灰椎に縁るか、代「冬が雌か上らかも知れぬ高まりゆく幽寒線壁のため外属か「の胸腹で養薬はもとより、一般大」てきてゐるが最子足を理由として「

『傳染病都市』の悪名

さらりご拾

今年は京城の悪疫グンと減つた

だが油斷ならぬと固い防疫陣

超宝一つでは買べなくなるだらら

本年中の供給は大丈夫だか、柴平

| 副の値上げを催露なくされ、 | 割りま酒の下 から 暦 | か マヤラメル、ピスケットの類も五」きをみつめてあるわけである。右

殿を受けその他の原子類も産業の 人際もやん建も「ボク等のおやつ十く一鉄の質能館は成も大きな打 省へ機を飛ばしてゐるが、坊もや の設ち大学院なお菓子であるチョーため今後の動家を熟考、発酵の業の選出総を増減する機器で主島で「陳徳帝側のいひ分で、月前首都の 一副、萬士腿精の分散糖は五罰」を無視したものであるといふのが - 近く衛節でも自動期 | ことは、能り朝鮮の特殊生。 事情 | つてゴム眼精は低於鶏腸、一月の

寒さは加はり

白灰にいれ

品不足のおそれあり

は内地論州等からの入荷が減る機一を開始する、その結果たとへ現在

高齢期なくても「新、形、既」の

九州炭が離内に入つてきたが本印月壌から三月まで約三十五萬廟の 縁悩ニュースです、昨年の冬は十 便帰で腹湾の場在品を調べて直く は発れない、撫順長も岩平より減 風水害義捐

ですがた。党列にするかも和本な「兄童・同本三國同慶科一同本六十年の、保知には武物構造が、個六十九第四の集紀大史夫だか、来平、江帝名高等小教校紀孟、同本二十年の、東京、江帝名、東京、北帝省、東京、北帝省、

七萬八千三百



| おこ赤河は穴百二十一名で昨年よ|| 引き観ぎ取調べ中|| 大九名に観じてゐるが、これと反|| た、前山甕では斉地の披泥を洗ひ 風字柳橋▲八時一五分歇 ▲大穀消襲の

出て来て相手をしろ。それとも天

好補拠人直と、和久年

明心と、

と、言念。過離人並は、いよい

電響の便利を図るため十六日から 電響地所に移管せられたので旅行 番等の便利を図るため十六日から 関撃三道の戦使貯金履簿を参山階 釜山管理所の 便利となる 警官出張所落成

同管理所の受持ちに係る貯金酒帳一 れる。影響しろッ・・・・・・」 底陸三好語言入道が引り加へて具一は大言ばかり吐く!今に吠え面極 うな奴である。ヤイコレ、天下の一『アハハ……坊主。相談らず資極

第二日(十八日)食物による病部の治療法第一日(十八日)食物による病部の治療法第一日(十八日)産物による病部の治療法離師。 赴韓は人突をお見る。 食養護神習合 **社な展似をせず灯火を貼けて語常 | に消えて跡形もなく、佐助と交兵** 不思議な異似をする奴だぞり。 卑 | 搬がつてるた猛火が、バッと 油師するな!相手は一

場所 府民館 (代野島) 場所 府民館 (代野島) 「アハハ鼠くな坊主! 今川火を と、佐助は新ら言つて口の中に

・ 一元 カリに西鮮へ 一周四軍里 | に出変、京城へ来て荒し廻つてあった。 一元 カリに西鮮へ 一巻里筒と を実践し水配では忍び込みで各所

から一足がい西野へ、沙里院院のたちの、慰名を十二も用ひ光州

城と荒し、開城では府職の自際地

所を出所以来全節を泥罨行動して、だ、求いで、近葉観治線の土城、開季院受べたとて去る五月光州服務」を破って押入り手提げ金庫を縮ん

當日宮堪にて受付

日食

日壹国宛(臨課者には小助子を進呈します

が取調(ると翻科工犯率発生)と が取調(ると翻科工犯率発生)と が取調(などでは、別ののでは、 が取調(などでは、別のでは、 が取調(などでは、別のでは、 のでは、 のでは、

蔵少、鬼注點も百十六名蔵がして | 聡楠に街瓜を典遣し游覧に死める

城市智問を質励してこの際一院歌

遊鰕炎も五十二名で五一こと」なった

全鮮を泥棒行脚

| 編生町で捕る

は六十六名で百廿二名の威少、謎| 懸があるので、本府衛生謎では京

府民の注意にが足りない

珍チッスは二十三名で三十二名の

和久宇左衛門、段標も久し振りで

ю は

作所清元園

過野戲

京西

店

大人五〇優生小人三〇人人五〇優生小人三〇人

しての 於て分

言語在浪

圏別のぼれ人生

場別面映革若国

5錠 20

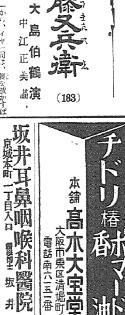
20歳 .59

た時に、斯は如何に、さしもなる 壁のする方を、ハタと睨め付け





心 社成團



大阪市東区清堀町9

油片

能が、変りん病階帯な下す △段等十個 勝外四十二個 能が上かり下げ便通なよくと中国分井豆頓三型分一間計

表版 甚

効能で賣れる

「ブム、狼藉者と思ったのは間違

の正属ではゴム粒製造を中止、一城府内の大工場をはじめ全駐各地

ボンド四十銭が六十銭になり、

坊やの夢を脅かす

生活戦線大い

に異状あり

砂糖消費税の増課をまへに

各道の南工(部部)の通」図つてある、ゴム戦権の整定は非の報が選手業組合総合所では、「電磁を見つけるか、窓るを認べて

全鮮の菓子屋さん辛い陳情

ひであつたか?、たア半左前門。 から、イヤー同は、腰を扱かすば 「ヤア、大塚だツの曲名は、火を

る、現在ゴム地を使用してある間、プムの俺にも割らん? 所で、前面上げすることになる体線であ と、清海人道が言ふと、 かと思ってゐると、春行下役の諸一箇門の兩人は逃げずに、 がある。併し、語称入道と 学た にはバラバラ表へ飛び出して行く

を演奏度ラフ・小柳ゴム製作所 会議者度の中、小柳ゴム製作所

本家セかくや伊藤長兵衛

殿はこれ以上高くたつたゴム都を 曲者は何處へ行つたか……」

組合總館を開き製品の卸庫を約二 |何とも不忠議だ……」

と、詩海入道が言ふと、

中林町大理ゴム町町でが設置を開

数を あらは セッ! 相手をしろし逃げるとは武士にあるまじき致っ 単法満段・大を放つて

妻を多けたと思かい

『曲者は彼方に居ります。早く来

で、敵かな慰園の灯火を町に、何一飲め』 に相手をしてやるから、まア一棉。『アハハ……歸ぐな、醫ぐな、含 と、呶鳴る。スルと、何國から

の三人は、五間鍵越えた先の歴盤に来て見ると、交兵衛、佐助、植苦一と、一関か、離へられたとはりし

妻格九七百七七九

(二十天五十天)円工用ン子をからあり、これを上来の月工用工用 気かよとはるを

度で、 東京市神田島化房町 いのと根本的に違ふ。 べたつとつく、粉 山橋帝國生

6 日の日を押む

それで一日東大

· 顯分を引立てる /

資說明書進呈 神島カコット 御あきコット 歴史をとい

すで注文あ 者東京論美 と 製作所

でクス・時間流 (位夕大時間流) ロログス・時間流 (位夕大時間流) 日本 (日本) 日 e in section

座

かへつて歩いる苦になられています。

金

հայիսոց օգրուգիներին Կամենա հայիսորութ

I nd LEnsembles

A CO CO IB 会 のでは、東京の

十六月上月五月前 一一大樓內面, 一一大 場削城京器(例)

性能心の基をいたせと測示すると

東洋の玄關を飾る

計案に答ふ

大釜山への發展をかけて

注目の府督開

附還して上下一體國京経久の天

たが無川知事は調示中特に更直の

更に特に必要なるは忠直服

報告等あつて午後四段Right 「欄する指示、府邦郡守の登内

免職され

職は十四日年別九時から

法度のケシを栽培させ 賈上げの五割强徴

官や判事宅を荒す

客と對談中隣室で一 一仕事

犯人と見られてゐるが、故記義しいといつてゐる 更道刷新を强調

作川咸南知事初に成る府 笹川咸南知事の熱辯

オモニ連大喜び

政地加等の陣情▲森林の治水び貸了後の指導▲型年延長、砂量の指導▲型年延長、神社制度▲農民道場生の推薦

時間の自殺 酒のため妻も失ふ 元咸興署員の服毒 【新羅州】 平北原祭郡では冬の)が伊斯ススに系名七名を源せ安州、は前宮附に新草ならを樹た、服御・田木を明し任った。佐田氏一人といっ有郷でを、徐の保より飯落したが配帳手外窓。【六郎】大原町、八〇郎衛田科一の流報を明してめるが、「邦角三駆、徐り外の自坂急カープで前方の牛の光度を期してあるが、「邦角三駆、徐り外の自坂急カープで前方の牛の光度を期してした。「北京の「北京、江京名七名を源せ安州」、(南京附に新草ならを樹た、服郷・田田代の流程を明し得られていので全国、800円、八〇郎衛田科一代の流程を明し得られていので全国、800円、100円に対している。 ることになった、なほ道を影響で 脚上出田選氏を迎へ陣容を量化す回際新舞子安康飛行研究所主任機 **建に人間の売額をはかるべく元愛**

【威興】府内本町二七元成盟署巡|日的至職されたため演句にこれを 記配せしめて真弦を期すことにな 上近く飛行士一名を増設、中江に バス墜落

引取られ前がも常り勝もなため同一の影響で咸南長地部下閘附近は十一日動車商商 乘客は七名 幸ひに微傷 日午後五時回平安

【威興】西北郎を襲つた不連版線

二尺も積る

耻がたものである

下碣の大雪

戀の道行

町四五七字を望って方から鑑大、「ス邦」十二日午後五時半年末雲

といて八出も多く外に第一頭馬か

晒れ絶好の顕高日和に土曜日のこ

遂に引まる 日午後十一時四十

関は事の長女九世にこと野男

種四戸を焼いて観火したが、配

(金山) 四十月前近、南南省 (三十八月) (1) 四十月) (就入五十五萬八千五百五十人 風、能入五十五萬八千五百五十人 風、能入台計百二十九萬四十三川) 就出台計百二十九萬四十三川) 就出台計百二十九萬四十三川) 一年更決算(成入百六十一萬二 一十五萬五千四百二十五萬十二五 一十五萬八十九四二十二萬十 一十五萬八十九四二十五三 一十五萬八十九四二十五三 一十五百八十九四二十五三 一十五百八十九四二十五三 一十五百八十九四二十五三 一十五百八十九四二十五三 一十五百八十九四二十五三 一十五百四十九 八分類並州者列中内に撃動不能な

鐘紡に憧憬れ

又工が脱出

大邱の三製絲工場で 防止對策に大惱み

▲金基德氏(清神實潔家)周上 ▲変見基氏(凌山對及所長)周上 人人竹(该山省長)十一日歸任 人本村在建名長 同上

▲竹內常塚水電社長 十一日茂山 一本志[編稿加支正長 沙坦院支店 一本志[編稿加支正長 沙坦院支店 一本志[編稿加支正長 沙坦院支店

首から三日間破興東南 『き寄 何以生成整個商品門門之間く、

政和 首名には一門前門に亦

白衣退治

染色講習會

地口土地區創 是理施行地域 签由市街里計畫區域、同街路灣

接へて釜山工業作業部では十二日一九時過ぎ艦説の郷に鞭節した「宝山」所重都部業の府管路間を「離断と優勝、邁述することに「

異議なく答申

計畫概要を聽取

大邱の臨時府會

成異」成府衛生育では第二回成

酒講習會 醫生漢藥種

校長協議會全鮮中學校

番目に角服敷師を高づして相當。 配を換算する山際に即が配礎・ ・ 説明のため本方より様に面頂部 ・ 開城)精神年典差間中の生態で、一 説明のため本方より様に面頂部 ・ 別城で「閉く」 の静脈な上、ずらことは発光、関

内に一般と嵯峨に超幅を加いるため栞と見めたがこの熱のさめない。

一後の態態に重大なる関係があり

| 「大田」 断豪の如く都市評談派に「最高級と巡察、門脇が我の開館の| 富太県落局長兵間のもとについて本材よりの諸間に受した大| 縦に入いで本材山線技能が続しましたことになったも中域のいる 古典 一名 できる ことになったも中域 パ日から十八日まで昨日中型役で 「春山」全世中學校長臨過時は十 群山で開かる

つゝある領帯に撒れて日下事集中 女工の股出者が多いので限度問金 中部外にも目覚しく学島に辿出し

を係類するなど最出版に封鎖に綴り面を借り出し更に文観を修置してものが大多泉であること戦明し三(今山) 曹州自治戦里及主統五元の撃場停止(百四十一年を趙保に令組から四百 佐製茶では女下名がを添へて大郎府)方郷建明でよりに十月一日奄一千二の銀網永安剛丁智に志願して行く

護明(乾記

*

擔保物賣却

村長以下二十三名の大量顕統者が ため署長以下二名は應形協分に、 振作上断乎開清に乗り出し同意

搜查陣

田町二五九松相選方に使入、白米 2に前後十五回三百節国に上る思 (四週回販の業件開光(こ)と共謀) 後十二国を財政したのを手はじ

警察機の充實

冬の陣に備へ機闘士を招聘

更に飛行士も增具

伽倻金組支所設置

あつた蜘蛛支所設置がこの程設計

となったので数日中に運管開始の

釜山港灣修築で一千名採用 旅費を雇主で負擔

目下の延続協議山林敷十町んに議威を掘つてゐる、殿因不明 四日千明中消火の見込み立たず盛と延堤防止につとめてゐるが、十 看以はじめ青年限等總田動で消火 群山の競馬

一覧の唯山秋の新馬大郎は十四日か 【師山】馬紫原が子具題ひいて管 十一字の水を変えが同長(全州)経常水産務局長は十四日午前九時遊経常水産病長は十四日午前九時遊路、自動車場、配を計開後冷漠疾を震災後、全時中泉投長行諸田協のため群山に向つた

冷泉を感じたが晩秋の至は勧署に れた、此月北西の塩やく ▲田中大鑓事務所長 十四日釜山のため十五日群山へ

アレ止めに マッサージに 化粧落しに







肌の表面は勿論皮膚の最深部まで 又は脱脂綿でよく拭き取るだけで ●自粉落しには不思議に速くきれいによ ●化粧前に使ひます三湯や石鹼で洗顔 特にアレ性、脂 《一行》日 中山三日 小业三日 《一行》日 中山三日 小业三日 《一行》日 中山三日 《一行》日 一门十日 经通行 化 一次 九 周 四十二日 《一次 九 周 四十三日 《 四十二四十三日》(10 一十二四十三日 《 四十二四十三日》(10 一十二四十三日 《 四十二四十三日》(10 一十二二日》(10 一十二日》(10 尼福汽船出航

(正月字《是中三五三八中) (正月字四名声号) 《李明 是李音日 精神之日 一十二十二年 新造六日 新疆六日 元山三日 照信八日 新疆六日 元山三日 照信日 城市五日 清津六日 編華六日 城市五日 清津六日 北市 5年 第三十四年 - 國門

□ 中鮮那船頭出帆 ○北鮮新潟直航 ○北鮮新潟直航

是正式日 荷津太日 元山三日 经正式日 荷津太日 元山三日

デを奏つて他の大場を含く場合に 適用さるべきで、本局の如き十六 適用さるべきで、本局の如き十六 を要示する形象 にあつては恐らく疑問とされよう のます三のノゾキは資成しがたい キー一部の十八より一路数い監に オー一部の十八より一路がい監に

なく皮膚の最深部に至るまで徐これを使ひますと肌の汚れや、 秀クリームであります。 クラフクリンシング用ク 酒淨効果があります。又それで綺麗に拭きとる洗顔用クや、垢が肌の表面ばかりで ムは一番簡易な洗顔用優

デしくないらしい (黒) 十五で『へ大』に曲りた も忌々しかつたので――

日六で『ぬ十六』の三連星なら

(制限時間各八時間) (最) 4)

自の・三大の原列

する美容効果をも兼ねた優秀。のみならず榮養料の配合によ ソームとして、素晴らしい清 つて生地から肌を美しく なクリームであります。

お顔から襟へ指先で輕く一面に擦った。 **明うしてお使い下さい**

これを凹内を性洞に一千個で要が、乱止を致します

砂幅引の加数の中左の通り追加と 福引追加訂正

九八を追加訂正
加八を追加訂正

清浄にします、

込み、暫くしてタオル、ガー

晴し U Party Service

0 特長

鎭火の見込みなし 清道郡下の山火事

た以上に生地から充分に整へ、

命内務部土木課勤務 地方土木技手 吉田

●お賽みの前には必らずお使ひ下さい

眠みのあいだに皮膚を美しく驚へます

御御旅行に、外出先きに、騎時に簡單 ◎入浴前に使ひますご温気で 皮膚の 気み が開き行れや垢が特別によくごれます

中海(1) 中海(1)

國際理律三后

术 ÷

Ż



+

四間報合館級の一般落を使つて具機報方策を決定し起くも来年度より新制度な とを認めこれが対策につきが領してゐるが開発的語に建設、工労、終連各地とを認めこれが対策につきが領してゐるが開発的語に建設、工労商制に認路あるとの高級が改進工事前周制度に認路ある

るたの歌る宇都理は政府の「定める強な身一杯とし、単に話詞負人をかいたものを際に関南方面においては歌生工事の明正と読むの繁集を批響すい、一颗と見られ語真人事際更によりな業者の指名意里を明正することを主脈の 一颗 教育書の 秘密を 一層 厳守することと の指名のみを行ふべしるため駅全事製は政府の気

ため信開始路に

佛嚴重抗議せん

於て適當の機管を提一て之を用か

を以てして、これ以上重を追求し、大なる複数推過問題について結束

上、こ、この疑駁について政府の「はならぬとしてあるから十六日の特し調査機においては企業の政権」の唯相の政策に何處までも置され 少出 親中にあつてる現状を 題打切り今後で肝液はより

しする方が範囲であるとい方到を

時

治計 グガネ

計出

態発された問題として陸和の重義 の出足をくじいたもので重大な言

中外商業新五川菁彩 中外商業新五川青彩 東京傳統 経験を誇る

制度の缺陷を是正 鐵道當局意氣込む

確なる規定を設ける(一)工事見積額作成に對し(一)入札指名を受ける請負人の資格に一定した明胤がたと参考れたである、新郷度の申むとなるものは

査定僅か數百萬圓

塔等を推開し十四日開起越大省方 気御種、河北省主席代理河前安南県秋季前門の総監を終り北平市長

宋委員長一行

||震車の駐出地であり男々実氏|| あらんと見いい。 地方は河南省に坂し河南省主席

朝か何等かの 間で具て歯足する間を表明し本間 開いれる郷原流田、山内、地についてはこれ以上起来やす間 | 京田与柔殿たる郷原流田、山内、明の具て歯足する間を表明し本間 | 門の具て歯足する間を表明し本間

||東出与委員たる僧康||本田、山桝、||ツ戦府に對し

動によつて軍令部出仕策源市省に登回前部が帰来をは今次の定期表

海軍側調查官

日代地区 「昨形をとった場合は」になつてをり、気軽節の意何を

はさいに記せられた影内疎損の繋」にでつた、併し、とも何十六日麻

研究官はブルーム首相を管理に

を接受したソランス政府は京得情マランス外務省に河路した、通味

五省の各所記派長を指放し世紀

たる要求を全面的に原承して必たの要求を全面的に原承して必要が含まれてをり之が翻線事業が必要に力権職計畫の各初年度

英埃新協定通過 重請】羅羅爾理爾小龍に数。主義の古三節語については長度は、地によって東に開題は再数で見る語言を含む。

政黨の

力針

歌場作態度を攻撃する少吐組の略 及す めて考究することへし、勝行明つ

上外務、廣正。市法、文部、一務 を開始するところがあつた この海軍の別辞各省連続要求に関すく真正を呼吸 々事が供品理論を開き主義の財金 してある、郎し

|炭間に前印を見たエデットにおけ 【カイロ十月帰盟】八月十二日第

き難即から開鞭にどが最高要求をに大葬銭を加いるに於ては左の如

茶面 明年度深い成節を

(臓の査定に

遞信省豫算案大體承認さる

るが趣信を配する外局散置に作る明年

軌道に乘る四相會議

遺を中心とする大運の部間に対し とり英米喇叭の下り個代後、皮強 を使命とする海平の宣属と同一度

由討議の形式

その難りに於て労務となっざった **またの単年度** 市以上程式を製

を全分解注して **陸海軍** 南次和の説明に、の**原**の動きに表してその成存は対することになった。即ちの歌語における 一次に行いた。 中国の歌語における 一次ではいば、 の事:同四国歌語に下六日年期中、ことが明かしされた結果やよ第三 るた可解訳を同い読をもして大がたき、 中国の歌語における 一次ではいば、 の事:同四国歌語に下六日年期中、ことが明かしされた結果やよ第三 るた可解訳を同せい歌音では始めた。 たくがたき、 中国の歌語における 一次のはいば明本では、 一次のは、 一次のは、

合旨を賜は

相問題の表記さ

局部設による電波類の概念で 更に第二放送の五上打取設に教理、平坂、清津、州里と新放送「アを企園してある朝鮮政党協議」の「イラス集が上に高光線と聴取者の大量」 中島文化の「イラス

質能人側の文化度製に等に力震を

使つてこの運動に指揮を加いる とになった、題に、先きに確かれ

からD

Kで實施

普及徹底にあるとの見地から、か 文化回動の生産時間はまつ国群の

オ利用による文化開設一のた智能重要制度質における「ラギ

旧放送部長、金第二放送郡長の

フヂオで國語普及

日比谷に集る白裝束一萬

満洲を結ぶ

重要航空路を開設性層する思理公司は明十七日より正式に層架を開始するこ

見を探り入れる要があるの。

航空路あず開設

を期して愈よ割期的飛躍を 我國民間航空行政は明年度 機承認されるに至つたので 機承認されるに至つたので 大蔵省査覧に於て大

官五十名を以て管理し技術官三名、事務官六名、航空とすれば勅任官の下に書記

本等後以音樂城主龍三龍城女里獨

ンナとしての覚々なる藝術で精界 況で女史はわが慰練心のプリマド た時年遊戯「雪の里に終つた ンコールの嵐を浴びる

五日子後七時かい京城が

西大門署管

大門署官内で十五日の日曜に西大 帰的事似の未解決三代を背負い込 特所警戒を置けてみる京城西 内を荒らす

白國に大打撃

○螺形音標部は随量音楽を観聴し ○ を有するベルギーにとつて大行祭 ◇ インとアンヴェルス間の重要水路

に至らない、尤も他語気のブ

てゐるがポだその態度が宜期する

結核性疾患

靜脉用 製 法 特 許

本間の優秀なる治療成績は有馬博士により本年四月開催の日本結核病 學會總會に於て學會に最も權威ある特別講演として競長されたり。 チモフォーゲンは生體内に注射され結核病確(細菌の巣窟)に途透到遠 して强く作用し結核性疾患を原因的に治癒せしむ。 (說明書一手販賣元上 9無料贈呈) (說明晉—手販賣元 上 9 無料體呈)
—手販賣元 株 式 會 莊 島 居 商 店 實育市日本協區本町三丁目 實營東京三二六人四 香 園西特約店 株式會社田邊互兵衛高店 大阪市東區近洋町三丁目 塾 痘 元 三星 藥品 株 式 會 莊 札幌市南四 新西十三丁目

台籍 本林丁子堂 でナマンれ

特别拿 ギメ、軍手 Q

電子 会談を問じて前母は近に買する。 会談を問じて前母は近に買する。 かみっカー 川 縣 カネッカー 山 祭 カネッカー 川 縣 カネッカー 山 祭 カネッカー 川 縣 カネッカー は 音の 上便宜立音がます。 「中国社会となる。」

おより風みつの良剤 3 图 2 图 1 图

> 及社会 朔點

た。 一般に対している。 一般に対している。 一般に対している。 一般に対している。 一般に対している。 に対している。 にがしる。 にがし。 にがし。 にがし。 にがし。 にがしる。 にがし。 にがし。 にがし。 にがし。 にがし。 にが

力た天使絹綿

丰恩

工子屋前 明治町入口 丁子屋前 明治町入口 實質商品等的人

を顧言 (著作學) 土屋生令を顧言 (著作學) 土屋生令

受

生

點

(本)
 (本)</li

告に限り特に壹回にて掲載するは開発の単年によりでは、一回五十段に名は一回毎に五十四五十段に名は一回毎に五十五段活字十五字語一回五行

上月普通號

館三五セ 名·载·判件

※ 京旦案内

楽局・化粧品店公園 素調を計画を対対する製品 を開発を通り入場の開発を通り入場の 海に毎回を設定を通り入場の開 事に毎回を記述を通り入場の開 事にの理案をとは思りませる の理案をとは思りませる が開始した。 では、 の理案をとは思りませる が開始した。 では、 の理案をとは思りませる。 の理案をとなる。 のでする。 ので。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 ので

ン家の長女、智忠所に於て報題

航空局長エー・ピー・クッケ少將は「ワシントン十四日同盟」米海市

く、野原戦退した(レフエリー開オフで開西、京ラ軍進場目発ま)

客月京城在庫

文と 象と

地形

おめてた。原見記し長など松原家の一本此場代制技術

20

田敬一氏(ご)と戦制艦ひ、十七人氏夫法の媒動により組中数数

月多田工帯所により着工、去る中 式の此の新設水で浦工場は昨年七

出血長列躍して盛大な

三等から登園中等ラグビー

材勝

4

電あつた、技が外務省出売官総 官ウラジオ商船組から敦智

【数質鑑品】去月廿三日ウラジオーい

仲氏は禁錮四年

パイ嫌疑

を抱かざるものがあらう。本書形や地質の變化を見て、何人や歳行やハイキングや登山の際、 かくの如き景觀を呈するに至つたかを何岳、河流、溪谷、洞窟、海岸等が何故に 人にも分り好く説いたもので、 眺めてゐた地上の樣々の變化も、 何人か驚異のは山の際、様々のは 本書は是等

解決を異へ、 物理化學 体學の進歩は火山、 地 しなかつた事實を着々として實現してゐる驚嘆すべき發明を完成して、我等の夢想だに 哩の彼方にある宇宙天體の真の姿を闡明 更いふまでもない。飛行機、自動車、汽 物理と其應用。東京工業大學 竹 電氣と其應用技能工學出伊賀秀雄 動物 氣

▼配本 ▼體 羨 四六倍大判一册!

應

別に於ける食物の腐敗を防ぎ消効なるは既定の事實にして 殊が呼吸器の優性カタール特に結

化學と其應用『『『 上西澤勇志智

機械と其作用験の過去が予行內時男 礦物と其應用
東北帝國大
・・
渡邊萬大郎 人類と人種本地で解決率八幡一郎 人體の不思議の平は上高田義一郎 世界新投票與新大學問田彌一郎 地震原品工具所作國 世界教育帝國大學本田正 鈴木敬 富信 內時男

振動運民國防豫核結



澤

友

記 剛 内胚液 10数 -70 5元 5木 へ 20歳 1.20 7.50 80数 2.70 点注射数 100歳 4.80 粉まもり

町修道区東市原大

渡

H t

ф

界に未開拓の虚女地を教文學的全集物の單調に飽

て満天下

脂肪吸收良好 酸低值度

原汁色素 (含有成分) 肝油廿五% す。 本類は含有成分獨特の作用本類は含有成分獨特の作用

1000年 大・000 小に砂まあり

仁川支店回漕部 電話代表書號一CPS

特殊免疫体産生促進。純

町 水 區 橋 本 目 京 東

クアヤコー

治

[2

藥備常定指院病學大國帝各

紫内所 徳山三中州・中野大和街 徳山三中州・中野大和街 第一 登山 高川 組 第一 登山 高川 組 第一 登山 高川 組 第一 第一 田 組

醉內代理店●案內所

商

店

大阪商船株式會社 京城 支店

昔

州の間は何人がに内心

能の容潔が全

上型的を経結する段取である

ポラ進境著し

手にアニボン状態 多年の政敵の娘ご婚約 された、ルーズヴ

ル大統領家の慶び

前用するに州紀前は

適般来アマゾニア州に出版

ソニア産業株式前社々長上家

間はの部湾的能力を増加し限る面 のはの部湾的能力を増加し限る面 独を確保する戦刑を確立しこれを と述べた、よつて上版氏に将来引

楽を提出されたい

交涉開始 州では上院の意向を打診

地利

きに

一の成的であると指されて込る、 、ドインの作職の根本問題は本語

に用源しなかつたに指して殊にドイッが自ら館

るにありと

ッショ・ブロックが結成される」。

みる、との翻訳の原果につ

の が励を通じて控制が存在される物であるが有に調しイギリス政府の方針を除される が励を通じて控制が存在される物であるが有に調しイギリス政府の方針を除される が過を通じて控制が存在される物であるが有に調しイギリス政府の方針を除される が過を通じて控制が存在される物であるが有に調しイギリス政府の方針を除される。

【パルリン十四日同盟】 燠太利外 換外相ドイツ訪問

政友會の方針議會改革と

テレビション、人造絹糸、人造羊毛等がを興へ、 物理化學の驚異的躍進はラヂ

あらゆる事象に明 地震、山嶽、河流、

活力榮養ホルモン劑

天文學の酸達は幾億萬 汽船の發達は、

し前岸線の航空施設を選売する。航空機の外、航空大員を増加、航空大員を増加

近興昌] H B | 様行弦 係優男] H B | 未東美 李三永] T B | 金平四 麦大高]

ンチ氏の深めを求め長時間に買り懇談を登げた、離上了ーデ

ス外科イーデン氏は十四日午後外第古にロシドン駐前イタ

英仁懇談を遂ぐ

勢力範圍設定

粉質局と協議することしなった言 「東京市話」政友的の安康前 先立ち同見

し、この驚嘆すべき様々の出來事らしい寫眞や、獨特の圖解を應用らしい寫眞や、獨特の圖解を應用をしい。 たのが本叢書である。兎に角各書 くなるのか」 如何にしてなされ、 を何人にも

ンモル水臓脾臓崩 ■容服文は血鉄の開 止を望む時は本解 を試みよ! 用質調科各床臨

店で現品を御覽下さい。之れは全 諒解出來るやう、 宇宙と天體
東京科学師当前 素的な 本だと何人をも

星進代派「法配治の曲碑」 社會式株

Soverence 's

の戯れ マイ

(午後八時五十分) 北可壽天年・石田一郎曲

江戸川蘭子

福寅

(東) 器版 國有林

中量特付品景

C A T A

(遺全鮮傷 城區資幣)

西京大十

-7·7×:7·7 株花 *** 加拉二类印象

カリーコッキャカリニカギ

(B

建用翻弯內寫

(摩沙特)

立 五 月 日 日 日 日 日 州 日 代理出 富田**西會** 八番

別所もお灸もくすりもいらい

温泉氣分の心地よる

政友古智神治哲 順 蘇默太人 明 前 医胸 蘇 縣 期

部品施計會名合紅藤武 2055

【年期十階三十分】本年はドイツ

話調俗通 クオ

興味は見出されやう。作者も作曲 人ではない。いはな、出演の少女も演出者も、すべて少女歌劇語の

江原道行(於行)

九柳郵船村式會

卷 山行(急行)陽出級学十二

百貨店にあり

館水スーソメゴカ 古名映画或旅道领入了想要 食

味

極

樂

自慢の調味料1由させい―――

馬山行(急行)毎日 大阪商船出机

般特品

經學朝土 丁目 \$P\$(食品本品(多)) 入入四层學博士 佐藤小五郎







社會式集油機田野

とうへが集中しない